



学校だより 2月号
鶴 子

令和6年2月1日(木)
内灘町立鶴ヶ丘小学校
校訓 強く 正しく すこやかに

新しい出会いを大切に

校長 堀井 洋一

1月15日(月)からの三学期スタート、そして翌週22日(月)から始まった西荒屋小学校との共同学校生活もおおよそ2週間が経ちました。

子どもたちは、徐々にではありますが、同じ校舎での共同学校生活に慣れてきました。校内のあちらこちらで、「いっしょに」、そして「譲り合って」活動を行う姿が見られます。これまでの「学校文化」が異なる子どもたちが、同じ校舎で学校生活を送るわけですから、当然トラブルも起こってくるかと思います。そういった場合にも、自分たちで「話し合って」「わかり合って」、解決のためのよい方法を考えたり見つけたりしてほしいと思っています。

さて、今回、移転作業開始の日に、西荒屋小学校の浮田校長が本校職員に対して「お世話になります。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。」とご挨拶されました。また、西荒屋小学校の職員の方々から「ありがとうございます。」と、何回もお声かけをいただきました。とても、ありがたい言葉をいただき、両校の子どもたちのためにできることを教職員で考え、実行していかななくてはならないと改めて感じました。先月の学校だよりでもお伝えしましたが「助け合い」「ともに力をあわせること」を心に強く刻み、教育活動を推進していきます。

保護者の皆様におかれましては、何かとご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



授業参観 ご参加ありがとうございました

1月30日(火)の授業参観には、たくさんの皆様に参観していただきありがとうございました。西荒屋小学校の子どもたちとの共同生活ということもあり、いつもとは違った学校の様子をご覧いただけたかと思います。

また、6限目にはPTA家庭教育講座を実施しました。「睡眠の大切さ」「子どもへの心のケア」についてお話を伺うことができました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

2月には、6年生を送る会や練習期間中の学校公開も予定しています。改めてご案内いたしますので、ご参観よろしくお願いいたします。